

構造スリットの分類とスリット幅

垂 直 ス リ ッ ト ( A タ イ プ ・ G タ イ プ )

構造スリットの分類とスリット幅

水 平 ス リ ッ ト ( H W タ イ プ )

標 準 施 工 例

完 全 ス リ ッ ト 型

A タ イ プ

完 全 ス リ ッ ト 型

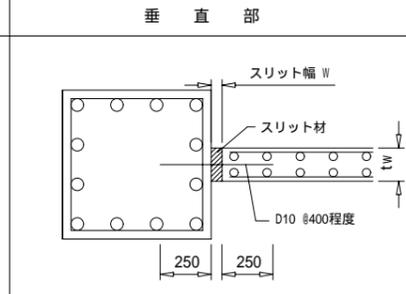
種 別

タイ プ

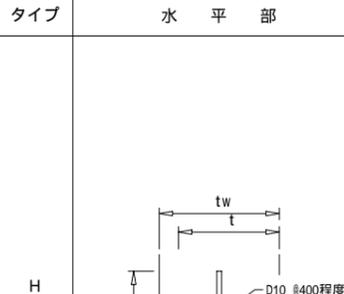
形 状

スリット幅:W (mm)

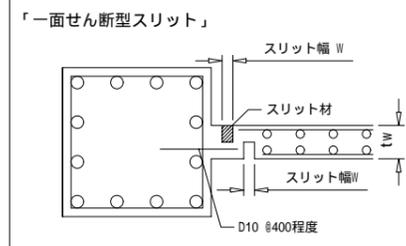
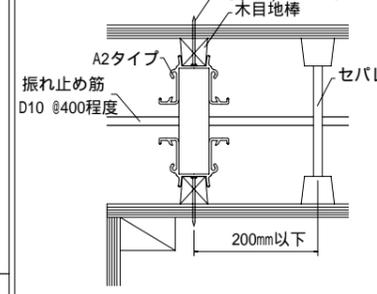
標 準 施 工 例



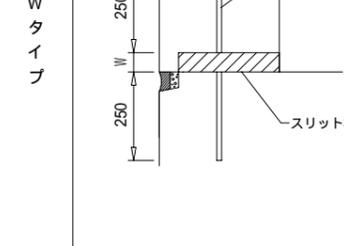
種別	2 時 間 耐 火	
タイプ	A2-F	AE2-F
スリット幅 W	25・30・35・40・50	25・30・35
形状		



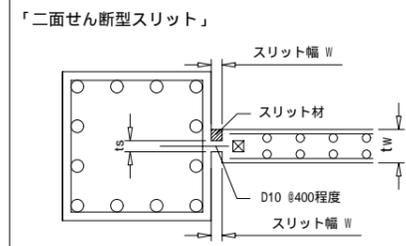
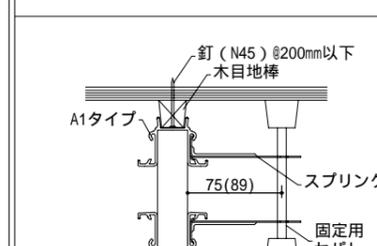
耐火タイプ	2時間耐火	HW-RW		20・25・30・35・40・50
	非耐火タイプ	HW-P		20・25・30・35・40・50



タイプ	A1-F	AE1-F
スリット幅 W	25・30・35	25・30・35
形状		



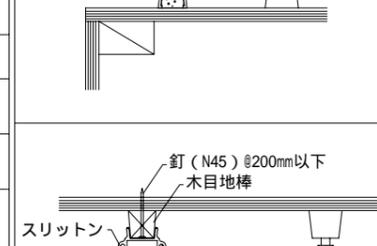
スリット材及び耐火材の仕様				
タイプ	スリット材		耐火材	
HW-RW	発泡ポリエチレン		ロックウール	
HW-P	---		---	



スリット材及び耐火材の仕様				
タイプ	スリット材		耐火材	
A2・1-F, AE2・1-F	高性能フェノールフォーム		---	



スリット材及び耐火材の仕様				
タイプ	スリット材		耐火材	
HW-RW	発泡ポリエチレン		ロックウール	
HW-P	---		---	

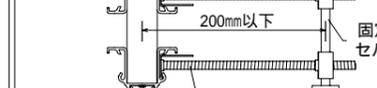


スリットの幅は、原則として層間変形角1/100変形時の腰壁・そで壁等の高さ(又は長さ)に対する変形幅を確保する。  
 「2007年版 建築物の構造関係技術基準解説書」

標準目地棒サイズ				
A2, A1タイプ		AE2, AE1タイプ		
スリット幅 W=25用		スリット幅 W=30, 35, 40, 50用		スリット幅 W=25, 30, 35共通



・HWタイプのプチルゴム貼付等の端部仕様は、別紙カタログを参照。



部 分 ス リ ッ ト 型

G タ イ プ

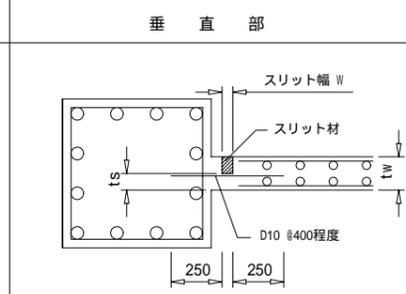
部 分 ス リ ッ ト 型

タイ プ

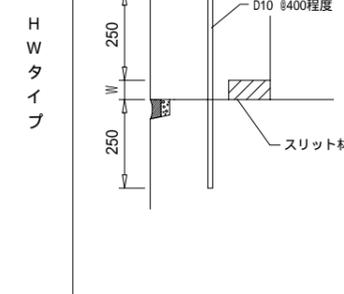
形 状

スリット幅 W

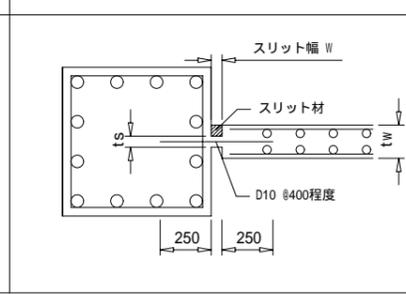
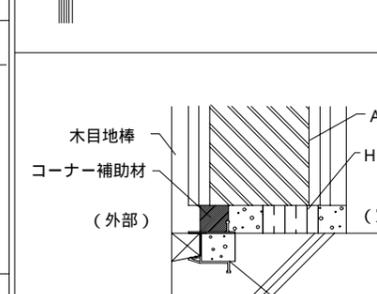
標 準 施 工 例



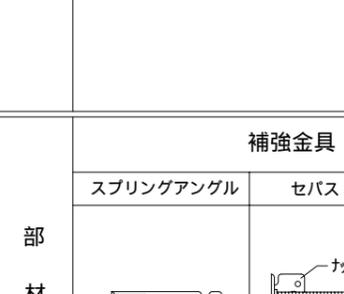
タイプ	G-5	G-6	G-7	G-9	G-10
スリット幅 W	25・30・35	25・30・35	25・30・35	25・30・35・40・50	25・30・35・40・50
形状					



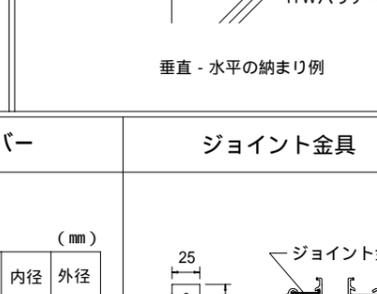
H W 補 助 材				
タイプ	HW-G10	HW/A' リア-	HW/A' リア-X	
形状				
スリット幅 W	20・25・30・35・40・50	20・25	25	---



タイプ	G-11(S)	G-11(L)		
スリット幅 W	25・30・35・40・50	25・30・35・40・50		
形状				



補強金具				
スプリングアングル	セバstopper(セット)		バリアー20用	バリアー25用
ジョイント金具				



・目地部残存コンクリート厚tsは、壁厚tw/2以下かつ7cm以下。  
 ・目地部残存コンクリート厚tsに対するスリット幅の比(W/ts)は、0.5-1.0。  
 ・完全スリット型及び、部分スリット型のスリット幅は、「2007年版 建築物の構造関係技術基準解説書」による。

鉄筋養生カバー				
ジョイント金具				

ジョイント金具				

ジョイント金具				

ジョイント金具				

(mm)		
鉄筋径	内径	外径
D10	13	33
D13	16	36
D16	18	38